

令和5年度 西成区運営方針

(所属長 : 臣永 正廣)

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」

目標	「すべてはこどもたちのために」をキャッチフレーズに、人と人とのつながりを大切に、みんなが笑顔で暮らしやすいまちをめざす。
使命	区民の多様な意見やニーズを把握し、地域住民等と連携・協働しながら、地域の実情や特性に即した施策や支援を行う。
令和5年度 所属運営の 基本的な 考え方	若い人や子育て世帯を呼び込み、活力あるまちをつくるため、3本柱（①子どもの夢がひろがるまち、②人と人がつながりにぎわうまち、③みんなが安心して暮らせるまち）の施策を進めていく。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 子どもの夢がひろがるまち

	3決算額	81百万円	4予算額	95百万円	5予算額	114百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯が地域で安心して子育てできる環境づくりが必要である。 教育環境の充実に向けて、学力や学習姿勢が身についていない児童生徒の支援とともに、区全体の学力向上に向けた取組みを進める必要がある。 生活面の課題がある児童生徒が健全な学校生活を送ることができるよう、支援する必要がある。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	(1) 子どもが健やかに成長できるようにする (2) すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる (3) 親子が安心して暮らすことができるよう支援する					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度合を示した指標)	区民へのアンケートで「安心して子育てができる環境が充実している」と思う割合：令和9年度までに88%（令和5年度62%、令和6年度69%、令和7年度75%、令和8年度82%、令和9年度88%）					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成				前年度実績	
	「安心して子育てができる環境が充実している」と思う割合55%				B	56%

経営課題2 人と人がつながりにぎわうまち

	3決算額	111百万円	4予算額	145百万円	5予算額	116百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 若者や子育て世帯に選択される魅力的な居住環境を整備する必要がある。 西成区の魅力を情報発信しイメージアップを図る必要がある。 複合的な課題を抱えた要援護者など、これまでの仕組みだけでは解決できない問題が生じており、様々な関係機関が連携し、横断的かつ包括的な支援を行う仕組みが必要である。 就労困難な若年層に対する自立支援を行う仕組みが必要である。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	(1) 住みたいまち、行ってみたいまちにする (2) 地域の活動を支えてつながりをつくる (3) 誰もが活躍して輝けるまちにする					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度合を示した指標)	区民へのアンケートで「あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか」に肯定的な回答：令和9年度までに70%（令和5年度53%、令和6年度57%、令和7年度61%、令和8年度65%、令和9年度70%）					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	区民へのアンケートで「身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいる」と思う割合：令和9年度までに89%（令和5年度61%、令和6年度68%、令和7年度74%、令和8年度81%、令和9年度89%）					
	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	「あなたが持っている西成区のイメージはどれに近いですか」に肯定的な回答56%			A	49%	
	「身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進んでいる」と思う割合 58%			B	55%	

経営課題3 みんなが安心して暮らせるまち

	3決算額	156百万円	4予算額	173百万円	5予算額	178百万円
課題認識	<ul style="list-style-type: none"> 地域におけるつながりの希薄化が進んでおり、災害時における要支援者対策の充実を図る必要がある。 区民一人ひとりの防災意識の向上を図る必要がある。 これまであいりん地域で行ってきた環境改善の取組みの成果を西成区全体に広げていく必要がある。 					
主な戦略 (課題解決の方策)	(1) 大規模災害等に備えた体制をつくる (2) 行政と地域住民が連携して防犯・安全対策をおこなう (3) あいりん地域の環境改善事例を広げていく					
アウトカム 指標 (経営課題の進捗度合を示した指標)	区民へのアンケートで「西成区は、安全安心なまち」と感じる割合：令和9年度までに66%（令和5年度50%、令和6年度54%、令和7年度58%、令和8年度62%、令和9年度66%）					
アウトカム 指標の達成状況 (定量評価)	5年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績		
	「西成区は、安全安心なまち」と感じる割合 51%			A	46%	

自己評価
(運営方針全体
の定性評価)

【経営課題1 子どもの夢かひろがるまち】

プレーパーク事業において、プレーパークを体験した方は区内の子育て環境に好印象をもつことから、結果的に子育てしやすい環境づくりに取り組んでいるというイメージの向上に寄与している。基礎学力アップ事業、基礎学力向上支援事業において、学力があがった、勉強の仕方がわかつてきたというアンケート結果がみられるとともに、授業内で行うテストの点数についても、事業の成果がみられた。学習姿勢向上の効果については、西成区こども生活・まなびサポート事業により、役割分担を行うことで、担任が授業に集中できるようになった。また、小1プロブレムの状態（幼稚園・保育所等と小学校生活のギャップ）が解消された児童が増加し、学習姿勢の定着も進んでいる。障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業においては、相談支援等の実施により孤立化を防ぎ、家庭に引きこもらないよう取組みを実施できた。

安心して子育てできる環境は整いつつあるが、西成区は依然として学力に課題を抱えており、教育環境については、子育て世帯のニーズに充分に応えていくように、引き続き改善していく。

【経営課題2 人と人がつながりにぎわうまち】

新今宮エリアプランディングの取組み、西成しごと博物館、西成情報アーカイブ等を実施し、情報発信したことにより、区内外の方に西成区の魅力を感じていただくことができた。

「区民まつり」などの区主催イベントや地域団体が主催するイベントにおいて、地域活動協議会や町会加入勧奨に関する周知活動を行ったり、区SNSなど、様々な媒体を活用し、情報発信を行った。種から育てる地域の花づくり事業においては、愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高めることができた。一方で身近な地域における見守りや助け合いなどのつながりづくりの重要性の周知等がまだまだ不足しているため、ターゲットに応じた情報発信について行っていく必要がある。

西成版サービスハブ構築・運営事業においては、対象者に応じた中間的就労等の機会を提供するなど支援プログラムを実施し、着実にステップアップを積み重ねることで、社会参加を促すことができた。

【経営課題3 みんなが安心して暮らせるまち】

各地域での防災訓練の支援や小中学生に向けた防災土曜授業等を実施し、自助・共助意識の醸成等に努めた。また、地域防災リーダーと防災協力事業所合同での講習会を実施し、地域と事業所の連携強化の取り組みを推進した。

防犯対策・安全対策については、課題が残る箇所はあるが、啓発活動を実施し、意識の向上を図った。

あいりん地域環境整備事業（巡回・啓発等）では、北津守・南津守・天下茶屋の3地域における不法投棄等の対策に取り組み、課題箇所において、あいりん地域の取組みで培ったノウハウを活用しつつ、関係部署や地域と連携、協働して重点的に対策することで、不法投棄等を大幅に改善させることができた。また、結核対策事業においては、特区による様々な対策を講じてきているが、依然として西成区の結核罹患率は大阪市の中で突出して高いため、引き続き、患者の早期発見・早期治療につながる結核健診受診の重要性を広く周知し、確実に治療完遂できる療養支援体制を堅持していく必要がある。

今後の方針

【経営課題1 子どもの夢かひろがるまち】

引き続き、子ども自身が課題や困難を乗り越える「生きる力」を育む居場所づくりや、第三期西成特区構想の教育目標として、「大阪市平均の学力」をめざし、児童生徒の学年や学力に応じた学習支援を新規事業として実施し、子ども達の学習習慣の定着と学力向上に取り組むことで、子育て・教育環境の充実を図っていく。

【経営課題2 人と人がつながりにぎわうまち】

引き続き各事業において広く情報発信することで、区内外の方に西成区の魅力を感じていただき、また住民の担い手の確保や、身近な地域で見守りや助け合いなどのつながりづくりが進むような取組みを進める。

西成版サービスハブ構築・運営事業において、引き続き、対象者に応じた支援プログラムの実施と、中間的就労の開拓に取り組む。

【経営課題3 みんなが安心して暮らせるまち】

引き続き、地域防災訓練等を実施し、区民一人一人の自助・共助意識の醸成及び地域防災力の向上を図る。犯罪の抑制に向けて、全市的に増加している自転車盗等に対して警察と連携して、効果的な対策を検討し実施する。

引き続き、西成内における不法投棄等の課題箇所において、関係部署や地域と連携、協働した対策を進めることで、課題の改善をめざし、結核対策事業においては、あいりん地域での取組みを継続しながら区全体でさらなる低減に向けて、結核患者の早期発見、服薬支援の充実、普及啓発の推進、発病の予防を柱として進めていく。

令和5年度西成区運営方針 自己評価説明用資料

令和6年度西成区区政会議
第1回 にぎわい部会

令和6年6月28日

令和5年度 西成区運営方針経営課題における具体的取組

経営課題	主な戦略	具体的取組	部会
①子どもの夢が広がるまち	(1)子どもが健やかに成長できるようにする (2)すべての子どもの学習意欲があふれる環境をつくる (3)親子が安心して暮らすことができるよう支援する	<ul style="list-style-type: none"> 西成区こども生活・まなびサポート事業 基礎学力向上支援事業(西成ジャガピースクール) 西成区基礎学力アップ事業(西成まなび塾) プレーパーク事業 障がいがある子どもや親の孤立防止支援事業 	こども部会
②人と人がつながりにぎわうまち	(1)住みたいまち、行ってみたいまちにする (2)地域の活動を支えてつながりをつくる (3)誰もが活躍して輝けるまちにする	<ul style="list-style-type: none"> 西成区魅力発信事業 地域コミュニティ支援事業 緑化推進事業 区における人権啓発推進事業 西成区地域福祉計画推進事業 西成版サービスハブ構築・運営事業 	にぎわい部会
③みんなが安心して暮らせるまち	(1)大規模災害等に備えた体制をつくる (2)行政と地域住民が連携して防犯・安全対策を行う。 (3)あいりん地域の環境改善事例を広げていく	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災活動事業 防犯対策事業 自転車等安全利用啓発事業 空家等対策推進事業 あいりん地域環境整備事業(巡回・啓発等) 結核対策事業 	安全あんしん部会

西成区魅力発信事業

R4予算額

8,340千円

R5予算額

8,311千円

目的

人を呼び込み、まちを活性化させるため、来訪者に区内を周遊してもらえるよう、また、区民の方にまちの魅力を再認識してもらえるよう、古い歴史、文化、観光資源や芸術など西成区の持つ魅力を広く発信する。

取組実績

- ・大阪フィルハーモニー交響楽団出前授業の実施(3中学校、5小学校)
- ・大阪府中小企業家同友会西成住之江支部と連携し、西成しごと博物館を実施(参加者:363人)
- ・芸術文化活動を通じたにぎわい創出のイベント「ブレーカープロジェクト」を実施
- ・「新今宮ワンダーランド2023」開催を支援し、新今宮エリアの魅力向上に取り組んだ。

自己評価 今後の方針

- ・取組みにより、区内外の方に西成区の魅力を感じていただくことができた。
- ・引き続き、西成区の歴史・芸術文化・観光資源を活かし、にぎわいを創出し、広く情報発信することで区内外の方に魅力を感じていただけるように取組みを進めていく。



大阪フィルハーモニー出前授業

西成しごと博物館

地域コミュニティ支援事業

R4予算額

63,116千円

R5予算額

63,503千円

目的

地域活動協議会の運営を支援することにより、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化等を図る。

取組実績

- ・ 地域活動協議会の自律的な組織運営に向けた支援
- ・ 地域活動協議会に対して補助金を交付し、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化等を目的とする事業の実施を支援
- ・ 「区民まつり」や「成人の日記念のつどい」などの区主催イベントや地域団体が主催するイベントにおいて、地域活動協議会や町会加入勧奨に関する周知活動を実施
- ・ 職員による地域活動取材記事を写真と共に区SNSにて37回発信
- ・ 西成区地域活動協議会まちづくりフォーラムを開催(令和6年3月11日)



まちづくりフォーラムのようす

自己評価 今後の方針

- ・ 地域活動協議会に対する運営・会計支援により、適切な組織運営及び会計処理が行われている。
- ・ 積極的な情報発信を継続するとともに、使用する媒体や内容などについてターゲットを意識した取組みを行い、住民の活動参加や担い手の確保につなげていく。

緑化推進事業

R4予算額

4,909千円

R5予算額

5,179千円

目的

地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的に、高齢者の生きがいづくりやつながりづくりとしての地域拠点・活動場所の創出、また、地域資源の一つであるボランティアの参画・協働による地域活動として事業を実施し、うるおいのある美しいまちづくりを進めるとともに、景観の向上により不法投棄や迷惑駐輪の軽減を図るなど、住みよいまちづくりをめざす。

取組実績

- 種から育てる地域の花づくり事業の実施
- 年2回地域へ出荷(年間約 50,000株)
- ボランティア意見交換会(年9回)
- ボランティア募集の取組み
- チラシ配布、SNS、HP、広報紙への掲載
- 花と緑の講習会の実施 年5回
- ボランティア養成講座の開催 年9回
- 区内小学校における講習会 年2回



区民まつりの様子



区民まつりでの植物を使った手作り体験

自己評価

今後の方針

- 地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的に、地域ボランティアの参画・協働による地域活動として「種から育てる地域の花づくり」事業を実施し、市民の皆さんができるだけの手で種から花を育て、その花を公園、道路、学校などに植えることで、きれいな暮らしやすいまちにし、愛着を深めながら自主的なまちづくりへの参加意識を高めることができた。
- ボランティア相互の意見交換会やボランティア主体による花と緑の講習会を開催し、区民の緑化に対する知識や意識の向上に取り組んだ。
- 本事業は、地域活動への動機付けや地域コミュニティの再生を目的として、自主的なまちづくりへの参加意識を高めるとともに、住民同士のふれあいやコミュニケーションが活性化され、「健康・いきがいづくり」や「こころの健康づくり」に役立つことが期待されることから、今後も引き続き実施する。

区における人権啓発推進事業

R4予算額

555千円

R5予算額

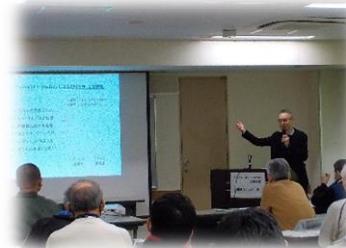
2,000千円

目的

人権問題は身近な問題であるという意識を一人ひとりが持てるよう、人権問題に対する理解と認識を深める取組みを進める。人と人との豊かな関係づくりから、人権が尊重されたまちづくりへつなげる。

取組実績

- 地域の関係団体から意見を聞く場や人権に関わる情報交換を行う場として、「人権啓発事業検討会議」を実施。
- 人権啓発推進員と連携協力し、人権週間での街頭啓発の他、人権啓発イベントや区民まつりでの啓発活動を実施。
- 人権啓発コーナーの活用や広報紙への啓発記事の掲載など、多様な手法で啓発活動を実施。
- 映画会や音楽イベントの他、直近の人権課題をテーマにした市民向け人権啓発講座を開催。



自己評価 今後の方針

- 啓発講座とイベントの参加者アンケートで「人権の意識は高まった」の肯定意見が、90.4%と、多様な手法で啓発を行ってきたことで、区民の意識変化の一助を担っていると言える。
- 引き続き、多様な手法で人権啓発の取り組みを進めていく必要がある。

西成区地域福祉推進事業

R4予算額

1,172千円

R5予算額

927千円

目的

地域で暮らす住民同士がつながりをもち、支え合える地域づくりをめざす。

取組実績

- 各地域活動の情報発信コーナーを区役所5階に設置
- 地域活動への参加促進にボッチャを活用(ボッチャ大会の開催)
- 要援護者名簿を活用するためのマップ作り(2町会)
- 個別避難計画の作成(128件)
- 地域福祉フォーラムを開催(令和6年1月20日)
- 各種SNSを活用した情報発信(定例1回/月、イベント開催時)

自己評価 今後の方針

- ボッチャは、障害者・高齢者・子どもに広がり、
楽しく参加することができる地域活動として定着しつつある
- 地域活動へのさらなる参加促進のために、活動の情報発信を行う
- 要援護者名簿を活用した見守り活動の実施
- 個別避難計画の作成(令和8年度までに300件)



西成区の地域福祉に関する情報は
ココをチェック!



スーパーイチボボッチャガーデン
NISHIKYOGOKU
にしりくん

西成区内の地域福祉に関する、イベントの案内や募集などを、
LINE公式アカウントやInstagramにて発信しています。
アカウントをフォローして、最新の情報をご確認ください。



西成区地域福祉推進事業事務局(西成区役所保健福祉課(地域福祉担当)・西成区社会福祉協議会)

西成版サービスハブ構築・運営事業

R4予算額

25,781千円

R5予算額

35,490千円

目的

- ・就労に向けた課題を多く抱える生活保護受給者に、就労意欲の喚起や生活習慣の改善を支援し、就労やボランティアによる社会参加を促す。
- ・就労や地域社会への参加を生み出すことにより「再チャレンジ」に取り組む利用者を支援し、「まちの活性化・イメージアップ」につなげていく。

取組実績

- ・対象者に合わせた支援プログラムを作成し、支援を実施
- ・対象者に合わせた就労による自立の支援を実施
- ・就労体験やボランティアを開拓し、対象者に合わせたマッチングを実施

○支援検討件数 (目標)50件 (実績)86件

○中間的就労創出件数 (目標)15件 (実績)18件



市営住宅の清掃



市営住宅の草刈り



就労体験 (調理)



就労体験 (清掃)

自己評価・今後の方針

- ・対象者に合わせた支援プログラムを行うことで、着実にステップアップを積み重ね、社会参加を促すことができた。
- ・引き続き、対象者に合わせた支援プログラムの実施と、就労体験やボランティアの開拓に取り組む。